

2020 年度実施概要

学校名

阪南市立西鳥取小学校

採択活動名

地域に根ざした海洋教育

実施単元

単元名	学年	教科
1. アマモ苗移植	4	総合
2. アマモ花枝採取・生き物一斉調査	4	総合
3. 田植え体験	5	今年度中止
4. 稚魚放流	6	今年度中止
5. 浜辺の生き物	1・2	生活
6. アマモ種子選別	4	総合
7. 稲刈り	5	総合
8. 漁港見学	5	社会
9. アマモ苗床づくり・播種	3	総合
10. 聞き書き	6	国語
11. ワカメ種糸付け	5	総合
12. チリメンモンスター	3	総合
13. 海苔すき体験	4	総合
14. ワカメ収穫	5	総合
15. 調理実習	5	家庭
16. 実践報告会	6	国語

取り組みの概要

今年度から教育課程特例校として取組を進めた。「海洋教育科」の学習として、海とふれあい、海を学ぶことで地域の環境に関心を持つとともに、地域の人と共に地域で活動を行い、地域の一員としての自覚を育むことを目的とした。また、海洋教育での活動や学習を自らの生き方や社会の担い手として成長するための経験とし、地域の海や地域の人々とのつながる活動を通じて地域に対する愛着を深めた。

【1・2年生】

「海に親しむ」ことを目標とし、近くに自然豊かな海があることを知り、海で楽しむきっかけとした。「浜辺の生き物探し」(ビーチコーミング:9月)では、どんな生物がいるのか観察を行ったり、浜辺に落ちてある貝殻やシーグラスを拾い作品を作ったりした。また、「チリメンモンスターを探せ」(2月)では身近な食材から海の生き物に親しむことができ、海を身近に感じ、楽しむ取組を行えた。

【3年生】

「海を知る」ことを目標とし、海の楽しみ方や、海を育むことの大切さを学んだ。「海藻おしば教室」(7月)では、いろいろな海藻を使ってそれぞれが絵葉書を作った。また、「アマモ苗床づくり・アマモ播種」(11月)では、上級生から地域の海の環境を守るためのアマモの育成活動を受け継いだ。

【4年生】

「海を守る」ことを目標とし、理科や社会科と連携しながら、生きもののすみかの重要性や環境保全について学ぶとともに、海苔漉き体験を通じて漁業について考えるきっかけとした。「アマモ苗移植」(5月)、「アマモ花枝採取・生き物一斉調査」(6月)では、地域の海に生息する生き物の観察を行ったり、自分たちが育てたアマモの種を採取したりした。採取したアマモの種は「種子選別」(9月)を行って下級生に「アマモ活動の引き継ぎ」(11月)をした。「海苔漉き体験」(2月)では、海の恩恵を感じ、次年度に学ぶ社会科の漁業について関心を高める取組となった。

【5年生】

「海と漁業の関わりを知る」ことを目標とし、社会科の漁業や清掃工場の学習とリンクさせ、海の利用について学んだ。「漁港見学」(9月)、「漁業についての学習」(1~2学期)では、海を利用することが生活に根付いていることを理解し、「ワカメ種糸付け」(12月)、「ワカメ収穫・塩蔵ワカメづくり実習」(2月)で実際に海産物の収穫を体験することができた。また、「臨海学校」(9月)では、海での活動を体験することができた。

【6年生】

6年間の学習の集大成として、海の活動から、地域や社会について学びを深め「海を伝える」ことを目標とした。

今年度は「稚魚放流」(6月)はできなかったが、地域の漁師さんからの「聞き書き」(10月)で、自分たちの身近にある海や漁業について学び、「実践報告会」(2月)にむけて、本校での海洋教育の取組を振り返り、今後自分たちがどう活動していくのかを考える機会とした。

活動中の写真



4 年 アマモ花枝採取



3 年 海藻おしぼ教室



4 年 種子選別



6 年 聞き書き



3 年 アマモ播種



5 年 漁港見学